



「かまいたち」ってどこで見られるの

とつぜん、皮ふにするどい切り傷ができること

かまいたちとは、何も知らないのに、とつぜん、皮ふがさけて、鎌（草やイネをかるための道具で、三日月形のはが、木のえの先に直角に取りつけてある）で切り開いたような、するどい切り傷ができる現象をいいます。

この現象は、特に、雪国に多く見られ、越後（新潟県）の七不思議といわれました。空气中に真空の部分ができるときに、それにさわると、かまいたち現象が起ると考えられています。

昔は、目に見えない、いたずらもののイタチのしわざと考えられていたので、この名がついたのです。漢字では、「鎌」という字と「鼬」という字をつづけて、「鎌鼬」と書きます。

イタチが出てくることば

<いたちごっこ> ふたりが「いたちごっこ、ねずみごっこ」ととなえながら、たがいに手の甲をつまみあい、手が届かなくなるまで順に重ねていく遊び。このことから、両者が同じことをくり返すばかりで、結果が出ないことをいいます。

<いたちの最後っぺ> 困りきったときに、最後の非常手段を使うことのとたとえ。

<いたちの道> イタチは同じ道を二度と通らないということから、交際や音信が絶えることのとたとえ。イタチの道切りともいいます。（監修・青木 国夫）

